

(研究) 実施についてのお知らせ

令和 7 年 4 月 25 日

【研究課題名】

感染性心内膜炎合併症 CT 造影検査における Split-Bolus Injection の有用性

【研究期間】 研究機関の長の許可日～ 2027 年 4 月 30 日

【研究対象】 対象患者は 2020 年 1 月～2025 年 3 月で感染性心内膜炎の合併症評価を目的として頭部 CTA および胸腹部 CTA が実施された患者。

【研究目的・意義】 感染性心内膜炎の合併症評価において、頭部 CT Angiography (CTA) および胸腹部 CTA は 1 検査枠で撮影されることが多いが、撮影手技が煩雑であり、検査時間が長くなるという課題がある。そこで、本研究では、従来の造影剤注入法である Test Bolus Injection 法・Bolus Tracking 法と比較し、新法である Split-Bolus Injection 法が同等の造影効果を維持しつつ、検査時間の短縮に有用であることを証明することを目的とする

【研究方法】

感染性心内膜炎の合併症評価を目的とし、頭部 CTA および胸腹部 CTA が従来法（テストインジェクション法・ボーラストラッキング法）と新法（Split Bolus 法）を下記項目で比較。造影効果においては新法が従来法と比べ同等・それ以上であることを確認する。また時間が短縮されたことを確認する。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

年齢、身長、体重、性別、基礎疾患、造影剤の種類、造影剤の投与量
撮影ディレイタイム、造影早期相画像大動脈 CT 値、症例画像

【試料・情報の二次利用】

本研究で取得した情報は、別の新たな研究に利用する可能性がある。

【個人情報の取扱い】

利用する情報から氏名などの患者さまを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

【本研究の資金源（利益相反）】

Split-Bolus Injection のパラメータ設定は根本杏林堂より提供された造影シミュレーションソフトウェア「pCOP」に基づいている

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 診療科名：放射線技術科

担当者名：久場 匡 沖縄県うるま市字宮里 281 番地

TEL：098-973-4111 （代表）

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、上記の問い合わせ先にお問い合わせください。